

オプション検査項目一覧表

健診機関名：岡崎市医師会はるさき健診センター

検査名	目的・内容等 (実施する曜日が限定されているときは曜日)	料金 (税10%込)	同日検査
腹部MR I	検査項目【上腹部MR I】 肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓の各疾患を診断する上で重要な検査項目です。 また、腹部大動脈瘤（血管のこぶ）が見つかることもあります。 放射線を使用しないため、被ばくはありません。	¥19,220	○
子宮・卵巣MR I	検査項目【骨盤部MR I】 子宮・卵巣の各疾患を診断する上で重要な検査項目です。 子宮体がんや卵巣がんについては、乳がんや子宮頸がんのような早期発見を目的とした検診がまだ普及していないため、子宮や卵巣のがんが気になる方にお勧めします。 放射線を使用しないため、被ばくはありません。	¥19,220	○
前立腺MR I			
MR I 検査			
心臓C T			
腹部C T	検査項目【腹部C T】 肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓の各疾患を診断する上で重要な検査項目です。 また、腹部大動脈瘤（血管のこぶ）が見つかることもあります。	¥11,000	○
大腸C T			
内臓脂肪C T	検査項目【C Tによる内臓脂肪面積測定】 C Tで内臓脂肪面積を計測します。腹囲が同じ程度の肥満でも、皮下脂肪型肥満に比べて内臓脂肪型肥満の方が、動脈硬化性疾患の発症に対する注意が必要です。肥満と診断されている方は一度受けることをお勧めします。	¥3,300	○
頸動脈超音波	検査項目【頸動脈超音波】 動脈硬化性疾患を早期に診断する上で重要な検査項目です。動脈硬化の程度や脳梗塞の原因となるプラーク（血管壁が局所的に厚くなった状態）の有無を調べます。動脈硬化の危険因子（高血圧・糖尿病・脂質異常症・肥満・喫煙）のある方にお勧めします。	¥3,850	○
甲状腺超音波			
心臓超音波			
腹部超音波	人間ドックコース内に含まれております。		
経膈超音波			
血圧脈波	検査項目【血圧脈波】 動脈硬化性疾患を早期に診断する上で重要な検査項目です。足の太い動脈のつまり具合（ABI）や動脈硬化の程度（CAVI）を調べます。動脈硬化の危険因子（高血圧・糖尿病・脂質異常症・肥満・喫煙）のある方、および「歩きにくい」、「足の血行が悪い」などの症状がある方にお勧めします。	¥1,430	○

ピロリ菌	検査項目【血液（ヘリコバクター・ピロリ抗体）】 血液を用いて、ヘリコバクター・ピロリ菌感染の有無を調べることができます。 ヘリコバクター・ピロリ菌は、消化性潰瘍の原因であるほか、胃がん発生のもととなる萎縮性胃炎の原因の一つと考えられています。胃部X線や胃内視鏡で潰瘍や炎症を指摘されている方は、一度検査を受けることをお勧めします。	¥880	○
骨密度	検査項目【超音波法による骨密度】 かかとの骨に超音波をあてて、超音波が骨を通り抜ける速さと量で評価します。 骨量そのものを測定しているわけではないため診断には用いません。	¥880	○
HPV	検査項目【HPV】 ヒトパピローマウイルス（HPV）は、子宮頸がんの原因ウイルスです。通常は感染しても2年以内に自然に消失しますが、HPVが消えずに感染が長期化（持続感染）した場合、異形成（がんの前段階）を経て、子宮頸がんになる可能性があります。 ※この検査には「視診・触診、細胞診」が必須となります。	¥5,460	○
甲状腺血液	検査項目【血液（TSH、FT4、FT3）】 TSH、FT4、FT3は主に甲状腺の機能の低下および亢進を調べる血液検査項目です。 甲状腺の代表的な疾患である橋本病（慢性甲状腺炎）やバセドウ病を診断する上で重要な検査項目です。 倦怠感・疲れやすい・イライラ感・のどの違和感などの症状がある方にお勧めします。	¥4,140	○
BNP（NT-proBNP）	検査項目【血液（BNP）】 心不全の補助診断法の一つです。症状や他の検査結果とともに総合的に判断する必要があります。	¥1,430	○
腫瘍マーカーAFP	検査項目【血液（α-フェトプロテイン）】 肝細胞がんの補助診断法の一つです。肝炎・肝硬変・妊娠でも高値を示すことがあります。	¥1,070	○
腫瘍マーカーCEA	検査項目【血液（CEA）】 大腸をはじめとする消化器系のがん・肺がん・腎がんなどの補助診断法の一つです。喫煙者でも高値を示すことがあります。	¥1,080	○
腫瘍マーカーCA125	検査項目【血液（CA125）】対象は女性 卵巣がんの補助診断法の一つです。子宮内膜症でも高値を示すことがあります。	¥1,490	○
腫瘍マーカーCA19-9	検査項目【血液（CA19-9）】 消化器系のがん、特に膵臓がん・胆嚢がん・胆管がんの補助診断法の一つです。	¥1,330	○
腫瘍マーカーSCC	検査項目【血液（SCC）】 肺がん（特に扁平上皮がん）・食道がん・子宮頸がんなどの補助診断法の一つです。	¥1,110	○
腫瘍マーカーセット			
アレルギー検査			
セット検査など	上記にないオプションは以下に記入してください。		
胸部CT	検査項目【胸部CT】 肺・気管支・心臓・大血管の各疾患を診断する上で重要な検査項目です。 特に肺がんを心配されている方、喫煙指数（1日の本数×年数）が600を超える方にお勧めします。	¥11,000	○
胸腹部CT	検査項目【胸～下腹部CT】 胸部と腹部の各疾患を診断する上で重要な検査項目です。 高性能CTのメリットを活用し、胸部と腹部を短時間で撮影します。	¥14,870	○

甲状腺セット	<p>検査項目【甲状腺超音波、血液（TSH、FT4、FT3）】</p> <p>甲状腺超音波は、主に甲状腺の炎症性および腫瘍性疾患について調べる検査です。</p> <p>TSH、FT4、FT3は主に甲状腺の機能の低下および亢進を調べる血液検査項目です。</p> <p>甲状腺の代表的な疾患である橋本病（慢性甲状腺炎）やバセドウ病を診断する上で重要な検査項目です。</p> <p>倦怠感・疲れやすい・イライラ感・のどの違和感などの症状がある方にお勧めします。</p>	¥7,020	○
胃内視鏡 (胃部X線を胃内視鏡に変更)	<p>検査項目【胃内視鏡】</p> <p>ゼリーで鼻腔あるいは咽頭に局所麻酔を行い、内視鏡を鼻あるいは口から挿入し、食道・胃・十二指腸の内部を観察します。異常が疑われた場合は、病理組織検査（組織を採取して顕微鏡で調べる検査）を追加することが可能です。胃部X線と比べると、胃がんの発見率が4～5倍高いとされています。以前にヘリコバクター・ピロリ感染胃炎と診断された方やヘリコバクター・ピロリ抗体陽性であった方、ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療後の方、胃の症状がある方、胃部X線で慢性胃炎（疑い）、炎症・レリーフ粗大や乱れ・アレア不整などと診断された方、過去の胃部X線で体位変換が困難であった方や検査後の便秘で悩まれた方にお勧めします。</p>	¥5,500	○
胃がんリスク	<p>検査項目【血液（ペプシノゲン法+ヘリコバクターピロリ抗体）】</p> <p>ヘリコバクター・ピロリ菌（胃がん発生のもととなる萎縮性胃炎の原因のひとつ）の抗体およびペプシノゲン（胃粘膜の萎縮の有無を示す項目）を測定することで、胃がんのリスク（かかりやすさ）を4段階で判定します。胃がんを見つけるための検査ではありません。</p> <p>胃がんリスクのある方（B・C・D群の方）は、定期的に胃内視鏡を受けることをお勧めします。</p> <p>胃の手術歴がある方、胃酸を強く抑える薬（プロトンポンプ阻害剤）を内服中の方、ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療が成功した方、腎不全がある方については、正確な結果が出ない場合があるため、お勧めできません。</p>	¥4,180	○
前立腺特異抗原（PSA）	<p>検査項目【血液（前立腺特異抗原）】対象は男性</p> <p>前立腺がんの補助診断法の一つです。しかし、前立腺肥大でも高値を示すことがあります。一部の前立腺肥大症の治療薬や男性型脱毛症の治療薬により、低い値を示すことがあるため注意が必要です。排尿困難や残尿感のある方、50歳以上の方にお勧めします。</p>	¥1,330	○
エラスターゼ1	<p>検査項目【血液（エラスターゼ1）】</p> <p>膵がん（特に膵頭部にできるがん）に伴う膵炎を反映して高値を示します。膵がんのほか、急性・慢性膵炎でも高率に高値を示します。</p> <p>エラスターゼ1は、早期の膵がんでも高値を示し、CA19-9は進行膵がんでも高値を示すとされており、膵酵素であるエラスターゼ1と腫瘍マーカーであるCA19-9の組み合わせがそれぞれ単独より膵がんの発見に適します。</p>	¥1,320	○
CA15-3	<p>検査項目【血液（CA15-3）】</p> <p>乳がんの補助診断法の一つです。肺がん・膵臓がん・胃がん・腎がん・婦人科疾患・肝機能障害でも高値を示すことがあります。</p>	¥1,230	○
シフラ（CYFRA）	<p>検査項目【血液（シフラ）】</p> <p>肺がんの補助診断法の一つです。子宮頸がん・肺良性疾患・食道がんでも高値を示すことがあります。</p>	¥1,690	○
喀痰細胞診	<p>検査項目【喀痰細胞診】</p> <p>喀痰の中にがん細胞が存在するかどうかを調べます。特に肺門部（肺の入り口付近）のがんを発見する上で重要な検査項目です。タバコを吸う方、咳や痰（特に血痰）の出る方は一度受けることをお勧めします。</p>	¥2,090	○
夜間視力	<p>検査項目【夜間視力】</p> <p>光の強さに対する眼の調節作用「明暗順応」を調べます。加齢や眼精疲労等により低下します。</p>	¥810	○
動体視力	<p>検査項目【動体視力】</p> <p>動いている対象物を視線を外さずに持続して識別する能力を調べます。加齢や眼精疲労等により低下します。</p>	¥810	○

視野	検査項目【視野】 視野（見える範囲）の異常を調べる検査です。 自覚していない視野の異常を調べることで、緑内障、網膜、視神経などの目の病気の早期発見につながります。	¥830	○
脳ドック 頭部コース	検査項目【頭部MRI・MRA】 MRIで脳全体、MRAで脳血管の状態を調べます。脳腫瘍、脳梗塞、脳動脈瘤などを診断する上で重要な検査項目です。	¥26,400	○
大腸ドック	検査項目【便潜血（2回法）、直腸診、大腸CT】 大腸のポリープやがんを診断する上で重要な検査項目です。大腸CTは、最先端の機器を使用して炭酸ガスを肛門から大腸へ注入し、腹部CTを撮影するという新しい検査法です。内視鏡の挿入やバリウムの注入が不要であり、比較的楽な検査法です。	¥30,800	×

※胃部X線検査に代えて胃内視鏡検査を実施した場合、
検査時に組織採取を行っても通常の変更料金以外に追加料金が発生することはありません。